

## 11週間病院実習スケジュール

期間	場所	実習内容	
1週	調剤室	<b>導入</b> ・臨床における心構え、安全管理の考え方について学ぶ ・病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れを理解する	<b>調剤業務</b> ・基本となる内服、外用の調剤を実践する ・処方箋に基づく医薬品の供給と管理を理解する
2週	注射薬室	<b>薬剤部内システム</b> ・医薬品管理システム、注射薬払い出しシステムを理解する ・院内における薬剤師の役割を理解する	<b>医薬品管理</b> ・院内全般における適切な医薬品の供給と管理を実践し、院内医薬品在庫管理について学ぶ <b>注射薬計数調剤</b> ・基本となる注射薬の計数調剤を実践する
3週	製剤室	<b>院内製剤・無菌調剤</b> ・医薬品管理システム、注射薬払い出しシステムを理解する ・院内における薬剤師の役割を理解する	<b>院内製剤</b> ・院内製剤の必要性を理解し、作成を実践する <b>無菌調剤</b> ・無菌調剤に必要な条件等について理解する
4週	DI室	<b>医薬品情報管理</b> ・院内における医薬品情報の管理について学ぶ	<b>医薬品情報</b> ・医薬品情報の検索・抽出方法について学ぶ ・情報提供資料の作成方法について学ぶ <b>医療安全・災害時医療</b> ・医薬品の安全管理について理解する ・災害時医療における薬剤師の役割を理解する
5週	病棟	<b>病棟業務実践</b> ・外科系病棟(耳鼻咽喉科、整形外科・外科等)における病棟業務を実践する ・内科系病棟①(腎臓科、感染免疫科等)における病棟業務を実践する ・内科系病棟②(血液腫瘍内科、循環器科等)における病棟業務を実践する	<b>持参薬管理業務</b> ・新規入院患者から薬物治療評価に必要な情報(薬歴や服薬コンプライアンス、薬効、副作用、OTC・健康食品の使用など)を適切に収集する ・持参薬について、同効薬の等価用量も考慮しながら、継続・変更・中止を提案する <b>患者状態に適した調剤の実践</b> ・患者の状態を考慮した調剤方法を考え、実践する ・注射処方せんに基づく調剤を実践し、補液や投与量の適否を確認、必要に応じて疑義照会を行う ・処方薬の薬効と副作用を、適切な評価指標に注目して、継続的にモニタリングする
6週			<b>TDM</b> ・血中濃度測定を行い、その結果から適切な処方設計を行い提案する <b>化学療法レジメン管理</b> ・化学療法を実施する患者における、レジメン選択の妥当性を検証し、その内容を確認する。
7週			<b>医薬品の調製</b> ・注射剤の無菌的混合操作、抗悪性腫瘍薬などのケミカルハザード回避の手技を実践する <b>服薬指導</b> ・患者の心理・社会的背景に配慮しながら適切な服薬指導を行う ・S・O・A・Pの各要素を認識したうえで薬剤管理指導の内容を記録する
8週			<b>チーム医療</b> ・入院中に生じる治療上の問題点をチーム医療の一員として他の医療スタッフと共有し、薬剤師の視点から解決策を提案する <b>医薬品情報</b> ・疑義照会に対する対応を実践する ・ガイドラインや適切な三次資料を参考に根拠に基づく薬物治療法を選択する ・最新の臨床試験成績を検索し、治療に還元する
9週			<b>病棟医薬品管理</b> ・病棟に在庫してある医薬品の管理について学ぶ。
10週			
11週			総括・発表会